

GEMBA Note for Business Ver.3

バージョン移行ガイド

第 1 版

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoJi が作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社 MetaMoJi に帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

2016 年 12 月 ©2016 株式会社 MetaMoJi

はじめに

本書では、管理者向けに、GEMBA Note for Business から GEMBA Note for Business Ver.3 へ移行する手順を説明しています。

GEMBA Note for Business の概要や導入・運用の方法については、管理者ガイドをご覧ください。

表記

名称	表記
GEMBA Note for Business Ver.3	新バージョンのクライアントアプリケーション
GEMBA Note for Business	旧バージョンのクライアントアプリケーション
GEMBA Note 管理ツール	管理ツール

参照先の表記

関連する機能や詳細について説明している項目を「→」に続けて紹介しています。

[表記例]

- 本書内の項目の紹介
→ 2.2 新バージョンへの切り替え - 注意
- ほかのマニュアルの項目の紹介
→ 管理者ガイド 2.8.3 暗証番号の設定 (iOS 版)
※ マニュアル名を で囲んで示しています。

画面

クライアントアプリケーションの画面やアイコンは、iOS 版の GEMBA Note for Business のものを使用しています。

目次

1	概要	4
1.1	データの移行	4
1.2	クライアントアプリケーションのバージョン	5
2	バージョンの切り替えとデータの移行	6
2.1	バージョン切り替え前の準備 - 旧バージョンからのログアウト	6
2.2	新バージョンへの切り替え	7
2.3	クライアントアプリケーションの導入・データの移行	8
2.4	旧バージョンのクライアントアプリケーションの削除	9

1 概要

新バージョンのクライアントアプリケーションは、旧バージョンのクライアントアプリケーションとは別のアプリケーションです。このため、自動でアップデートされません。

新バージョンに移行するには、本書に記載の手順でクライアントアプリケーションを導入したり、データを移行したりする必要があります。

1.1 データの移行

データの移行は、MetaMoji クラウドを介して行います。

移行可能なデータ

MetaMoji クラウドに保管されている次のデータは、クライアントアプリケーションで同期をとることにより、移行できます。

- 個人ドライブ・共有ドライブ
 - 各ドライブのノート・タグ・フォルダ
- ※ ゴミ箱のノートも移行されます。
- クライアントアプリケーションの設定
 - mazec の学習・登録データや設定
- ※ 旧バージョンでログアウトしておく必要があります。

移行のタイミング

新バージョンのクライアントアプリケーションで最初にログインしたときに移行が行われます。

※ ユーザーが複数のデバイスを使用している場合も、最初のログイン時に移行が行われます。

1.2 クライアントアプリケーションのバージョン

1つの法人 ID 内では、すべて同じバージョンのクライアントアプリケーションを使用します。
新バージョンのクライアントアプリケーションの使用を開始するには、管理者が管理ツールでバージョンの移行を行う必要があります。

移行後は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します。

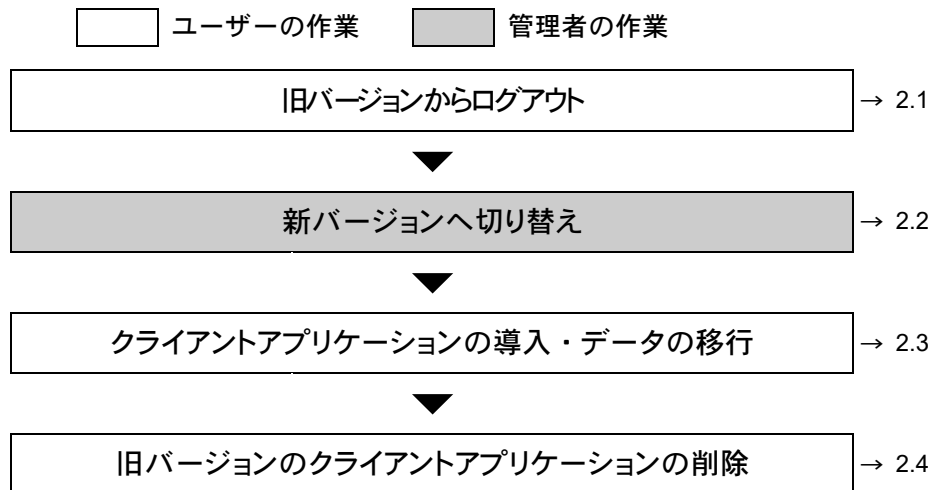
※ 移行後、旧バージョンのクライアントアプリケーションは、ログアウト忘れのため移行していないデータが残っている場合に使用できます。

→ 2.2 新バージョンへの切り替え - 注意

旧バージョンのクライアントアプリケーションで同期をとっても、移行後のデータにアクセスすることはできません。

2 バージョンの切り替えとデータの移行

すべてのユーザーが準備作業を完了してから、バージョンの移行を行います。



2.1 バージョン切り替え前の準備 - 旧バージョンからのログアウト

作業者：ユーザー

旧バージョンのクライアントアプリケーションからログアウトします。

1. ノート一覧画面右上の  > 「ログアウト」をタップします。
GEMBA Note for Business からログアウトします。

2.2 新バージョンへの切り替え

作業者：管理者

旧バージョンアプリケーションからのログアウトが完了したら、管理ツールで新バージョンへの切り替えを行います。

※ サーバーでバージョンの切り替え処理を行います。手順 5.のあと、通常、数秒から 1 分程度で終わります。

注意： 切り替え後は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します

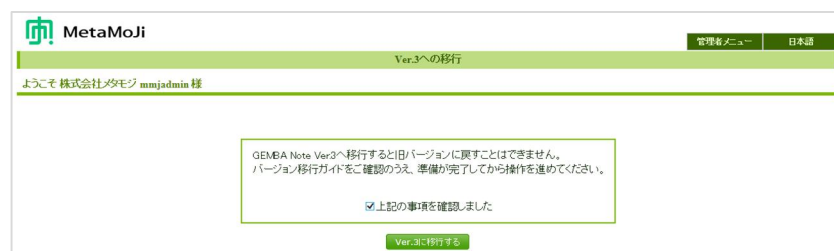
ただし、移行していないデータが残っている場合は、旧バージョンのクライアントアプリケーションを使用できます。

1. Web ブラウザで次の URL へアクセスします。

クラウド版

`https://mps101.metamoji.com/mmjeditor2/usradm/ja/verupGEMBA3.html`

2. ログイン画面が表示されたときは、管理ツールへのログインと同じ要領でログインします。
3. 画面に表示される内容を確認し、[上記の事項を確認しました]をオンにします。



4. [Ver.3 に移行する]を選択します。
5. 移行を確認するメッセージが表示されるので、[OK]を選択します。

以降は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します。

2.3 クライアントアプリケーションの導入・データの移行

作業者：ユーザー

新バージョンのクライアントアプリケーションを導入します。

導入後は、新バージョンのクライアントアプリケーションにログインし、旧バージョンのデータを新バージョンへ移行してダウンロードします。

※ 旧バージョンのクライアントアプリケーションでのログアウトが完了してから、手順 2. を行います。

→ 2.1 バージョン切り替え前の準備 ←

1. 新バージョンのクライアントアプリケーションを App Store からダウンロードし、インストールします。
2. インストールした新バージョンのクライアントアプリケーションにログインします。
旧バージョンのクライアントアプリケーションと同じ法人 ID・ユーザーID・パスワードでログインします。
3. 暗証番号を設定します (iOS 版)。

iOS 版のクライアントアプリケーションに初めてログインしたときに、暗証番号を入力する画面が表示されたときは、4 桁の数字を設定します。

※ 暗証番号について詳しくは、次をご覧ください。

→ [管理者ガイド](#) 2.8.3 暗証番号の設定 (iOS 版)


4. データを移行します。

ログインや暗証番号の設定が終わると、データの移行が自動で始まります。

移行されたデータは、同期により、自動でダウンロードされます。

データのダウンロードが完了すると、旧バージョンのクライアントアプリケーションでアップロードしたデータが、新バージョンで使用できるようになります。

以上で、旧バージョンのクライアントアプリケーションからのデータの移行は完了です。

注意： データの移行が正しく行われなときは、一度ログアウトしてログインしなおします
ノート一覧画面右上の  > 「ログアウト」をタップしてログアウトし、クライアントアプリケーションにログインしなおします。

2.4 旧バージョンのクライアントアプリケーションの削除

作業者：ユーザー

データの移行が完了したら、旧バージョンのクライアントアプリケーションを削除します。

注意： 旧バージョンのクライアントアプリケーションを削除すると、MetaMoJi クラウドにアップロードされていないデータが削除されます。

クライアントアプリケーションを削除する前に、データの移行が完了したことを確認してください。

GEMBA Note for Business Ver.3 でアップロードしたノートは、旧バージョンで開くことはできません。

iOS の場合

1. GEMBA Note for Business アイコンを長押しします。
2. アイコンが波打ち始めたら GEMBA Note for Business の x ボタンをタップして削除します。
3. 削除が完了したら、ホームボタンを押します。